

## 新火葬場地域経過報告会(笠原地域)でのおもな意見

9月16日(木)笠原消防会館にて開催した、新火葬場地域経過報告会にご参加いただき誠にありがとうございました。報告会でお聞きしたおもなご意見とその回答を次のとおりまとめましたのでご覧ください。

日 時 平成22年9月16日(木)午後7時～

場 所 笠原消防会館

参加者 38人

○質問 全国的にも近年建設される火葬場にはセレモニーホールを備えた火葬場が多いように感じます。新火葬場建設の際にはセレモニーホールも建設する予定がありますか。

セレモニーホールを建設すると、来場者用の駐車場など、より広い敷地面積を要し、事業費も増大することから建設の予定はありません。また、多治見市内には、既に民間の経営するセレモニーホールが8箇所あり、今後も、民間業者に任せていきたいと考えます。

○質問 民間のセレモニーホールがあっても、市民は、市営で民間より安く、安心して利用できる施設を必要としているのではないのでしょうか。

土岐市では火葬場にセレモニーホールを併設しているため確認したところ、建設当初は利用者も多かったようですが、最近では民間のセレモニーホールが整備され、市営施設の利用者は減ってきているとのこと。多治見市では、これまで市にセレモニーホールがなかったことから民間事業者が事業を拡張してきたという経緯がありますので、これまで通り、民間にまかせていくという方向で進めていきたいと考えています。

○質問 笠原の敷地面積は約85000㎡と大変広いですが、何か他の整備も行う予定がありますか。また、新しくできる火葬場の管理は市で行いますか。

笠原町の候補地は埋め立て処分場を含んでいるため、他の候補地と比較すると大変広い面積になっています。こうした処分場を新たに確保することは大変困難ですので、その部分は今後も活かしていきたいと考えています。新火葬場の管理については、指定管理者制度を利用し、民間に任せたいと考えています。

○質問 近隣に住む者として建設には反対です。今日の説明会は高齢者など、来場することができない人も多くいます。行政から住民の方へ出向いて意見聴取や説明をするべきではないですか。

関係する全ての皆さんの元へ、出向いてお話を伺うのが理想ではありますが、現実的には

難しい部分もありますので、各候補地で皆さんに集まって頂き、説明会を開催しています。本日報告会にお越しいただけなかった方には、第1回と同じように内容をまとめて、町内回覧をさせていただくよう予定していますのでご理解をお願いします。また、ご希望があれば、再度説明会を行うことについても検討していきたいと考えます。

**○質問 今までごみを焼却していた場所で火葬をするということには大変抵抗があります。**

焼却場の建物は取り壊して整備するよう予定しています。建物の外観はもとより、周辺環境の整備などにもできる限り配慮した整備を行って、厳かな雰囲気のある施設にしたいと考えています。

**○質問 地場産業が低迷する中で、火葬場のような施設が造られると、笠原町のイメージがより暗くなるように感じて心配です。**

どの地域に建設しても、喜ばれる施設ではないことは十分承知していますが、市民の皆さんにとって必要な施設でもあり、どこかに造らなければならないということも事実です。今後、4つの候補地の中で適地と考えられるところを、建設検討委員会の中で選定していきたいと考えます。

**○質問 合併特例債を利用しても借金をすることには変わりありません。しばらくは景気がよくなる見通しもないように感じますが、将来支払いをしていける見込みはありますか。**

総合計画の中で火葬場の建設を位置づけし、合併特例債の将来的な返済の見込みも立てており、今後15年ほどかけて返済する予定です。

**○質問 合併してまだ間もないのに、笠原町にこういう施設を押し付けるのはどういうことですか。**

新火葬場建設の検討については、平成13年から総合計画の中に位置づけているものであり、合併したから検討をし始めたというものではありません。また、候補地についても、複数の候補地から条件を絞り込んだ結果、最終的に選ばれたものであり、ご理解を頂きますようお願いいたします。

**○質問 昔からごみの埋め立てをおこなってきた場所であり、建物の下にも様々なものが埋め立てられているはずですが。人生の最後を迎える場所としては心情的に抵抗があり、あまり相応しくないように感じます。全国にもそういう例はあるのでしょうか。**

4つの候補地は、市全体の候補地調査の中で、主要な道路から直接敷地に入ることができる場所、周囲に緑地帯などを設けることができ、景観等に配慮できる場所、取り付け道路の整備などに多額の費用を必要としない場所といった3つの条件から絞り込みを行ったものです。また、全国的な例としては、三重県亀山市に廃棄物処分場に近接した火葬場があります。埋め立て場跡地としての心情的な抵抗につきましては、ご意見として受け止め、今後候補地選定を進めていきます。